

人生ハンド仏句

第119号

H. 24. 2. 1

(毎月1日発行)

日蓮宗という

名の由来

日蓮大聖人様は「行学の二道」というお言葉をよくおっしゃってられます。これは修行ばかりでもだめで、教義、つまり学問も必要だと言っています。要するに行と学は、車の車輪なのです。

日蓮聖人は、鎌倉幕府が成立してから約三十年後の貞応元年（一二二二年）、安房国天津小湊（千葉県鴨川市小湊）でお生まれになられました。十二歳の時、生家近くにあった、安房国の名刹清澄寺（せいちようじ）に入門されました。

日蓮聖人は、一心に勉学に励み、仏教の意味を問い続け、末法（まっぽう）の民衆を救済するための教え

を求め、鎌倉や京都、奈良の寺々や比叡山に遊学されました。そして、「法華経」こそが釈尊の真実の教えであり、人々をあらゆる苦しみから救う唯一の教法であると確信されたのです。

当時、日本は政治的にも社会的にも、また文化的にも大きく揺れ動いていました。鎌倉幕府の成立は、へんびな東国での自立をめざすものでした。そうした中で、さまざまな困難に直面している新しい時代の新しい生き方を求め、その結果、法華経に内包された偉大な教え（南無妙法蓮華経）を開きあらかず使命感に打たれたのです。

法華経の内包する偉大な教えとは、それまで特定の修行者にもみ仏の示教があったと受け取られてきました。が、実は、法華経は困難な時代（末法）に直面するあらゆる人々を救済する未来記（予言）を語り示した経

「人生ハンド仏句」

と打ち込んで頂けば、ホームページにつながります。

編集・発行
玉蓮山 真成 寺
編集部 谷川久仁子
TEL・FAX 0765-22-2268

典であるということです。

日蓮聖人は、この法華経の救いを末法の人々に伝える使命を達成する誓願を起こし、建長五年（一一一三年）、三十二歳の時、故郷の清澄寺で末法の人々を救う教えは「南無妙法蓮華経」以外にないことを高らかに宣言されました。（立教開宗）以後、日蓮聖人は、迫害の嵐の中、法華経弘通（こうつう）の生涯を貫かれたのです。宗名の由来については、日蓮上人御自身は、「いづれの宗の元祖にもあらず、末葉（まっぽう）にもあらず」と言われています。どこまでも久遠の釈尊（永遠のお釈迦様）の命に随（したが）う生き方を示しておられるのです。

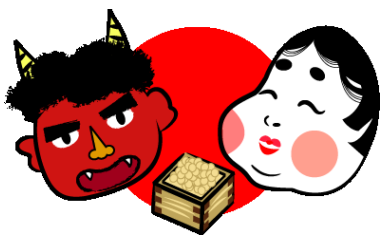
しかし、日蓮聖人の門下の活動が盛んになるにつれ、「日蓮宗」「法華宗（ほっけしゅう）」「日蓮法華宗」などと呼ばれるようになって行きます。

日蓮聖人の教えは、法華経をより

どころとしていきますから、一般には「法華宗」と呼ばれましたが、上人の高弟（六老僧）らは独自の門流を形成し、それぞれの発展の道を遂げながら、江戸時代まで至ります。

そして明治時代になり、仏教各派は、それぞれ統合を命じられるなどの宗教政策の経過を経て、身延山久遠寺（みのぶさんくおんじ）を総本山とし、池上本門寺（ほんもんじ）など大本山、本山を統合して「日蓮宗」と公称することを申請し、承認されたのです。

次号からは、日蓮聖人の御生涯を連載します。



しゃかさまおねはんえ
お釈迦様御涅槃会

- ・二月十五日（水）
- ・午前十一時より

どうぞお誘い合わせの上お参り下さいませ。

今月のお給仕（お講当番）は、
若栗地区の方々です。

宜敷くお願いいたします。



◎水子供養会

- ・毎月十三日
 - ・午後一時半より
- どなたでもご自由にお参りください。



こちらはコーラスへのご案内

☆「新川コーラスフェス

ティバル2012」

とき 二月二十六日（日）

午後二時開演

場所 ミュラージユホール

入場料 800円

新川地区のコーラス団体、
十一組が出演致します。
各団体の発表後、合同合唱が三
曲御座います。こちらはかなり
聴き応えがあります。
こちらも皆様のお越しをお待ち
致しております。

◎唱題行脚実施中

先月は大雪の中、道なき道をお題
目（南無妙法蓮華経）の声も高ら
かに回って参りました。皆さんで
最後まで回れたことに感謝いたし
ます。

今月も張り切って行きましょう！

先月の参加者

谷川寛敬・高木昶・伊藤宗治・
蝶涼太・土居可久子・高円富美子・
谷川久仁子

d e

※被災地支援の為

お休みです。